さあ発進!! いきいき平成4年度…

山弓連

さんきゅうれん

No.4-1

段位別選手権大会（4.9）

「入賞者交代」の年になるか？

恒例の選手権大会。申し込み一三〇名弱を二前に把って、今年も激戦が展開された。今回の特徴は、入賞者の顔ぶれが大中に入れかわったこと。これまでの入賞常連をしりぞけて、新人が多数入賞した。（この場合の新人とは、単なる年令の若さだけではない）新しい力の台頭が、今年の山梨弓道界度にどんな影響をもつか。楽しみにして一年の終りを待ちたい。

入賞の顔ぶれは別表の通り。↘

	一位	二位	三位
女子	芳沢理恵（韮崎）7	標 衣枝（富士）6	加美嘉（富士）6
三級	佐野一正（甲府）7	加美嘉（富士）6	島田雄介（甲府）5
二級	柳本繁秀（北巨）7	今福里恵（甲府）5	土屋広仁（甲府）4
三段	大石学造（甲府）6	中込 実（富士）6	井上貴文（富士）6
二段	辻 崇治（東山）7	綿引朋康（甲府）7	細沢 満（甲府）6
初段	深沢武重（甲府）6	西郷泰弘（北杜）6	室伏由雄（甲府）6

※級をとればー的中率がもう少しあげれば。3中どうしの優勝決定射詰競射が二ヶ、三ヶあると大会場内は最高に盛り上る。……が。

全国勤労者弓道連合山梨県予選会

一時は、二チームしかエントリーがなく、予選なしで代表がきまった年もあった二とを考えると、ここ七年は順当かな？と言える。ここ七年と、常連もカタカタといれかわり、予選結果は次の通り。

チーム	一回戦	二回戦	計	代表権
東京電力	11中	11中	22	○
松下電器	10中	8中	18	○
横河電機	6中	10中	16	
松下電器	6中	7中	13	

常勝コンビのプッツリゲームが敗れ、こちらも勤田交代という結果になった。

京都審査 おめでとう 教士1段1名、ことしは豊年。

去月の京都審査で（雅薦含む）三人の昇段、昇格者が出た。おめでとうございます。

教士 標 衣枝さん

「教士」への最短距離に居る二人と言われていたが、そのコトバ通り、今回みごとに合格した。団体入賞、全日本選手権大会入賞などの輝かしい弓歴もあり、それからの山梨女子弓道指導者としておおいに期待したい。夫君渡氏も同体雁化コーチとして活躍中。春居町鐘目在住。24（実礼）

錬士 渡辺栄起さん

去月市事木、福正寺住職、寺内に弓道場をつくり、弓友会員と共に修練に励んでいる。この道場から数多くの称号者、高段者名選手が輩出した。

師平は、永年の仏教文化普及の功により勲五等瑞宝章を授与されている。72才。

六段 横谷三男さん

山弓連副会長三期目。弓歴は、日置流印西派の父君から手ほどきを受けてからというから、既に半世紀を超えるベテラン。初めて団体入賞を果たしたこともある名手。

一宮町で教業を営むかたわら、神官（宮司資格）として活躍。また町の教育長（教育委員長）も歴任。地域の名士でもある。72才。

県内審査講習に39名参加

4月26日 甲府青葉弓道場で行われた県内審査講習会に、39名（中二次は63名）が参加し、審査会での合格めざして射技、体配の修練に励んだ。39名というのは近年にない記録で、講師（斎藤甲、佐野、天野）も事前の（深沢、保坂、宮下、藤巻）も、汗ダクダクの大忙し。しかし、一日が終って各人の上達ぶりが目に見えるようになると、忙しさの苦労などどこへやら吹きとび、「ヨカッタ!!」で閉会。審査会での幸運を祈ります。

浅利与一700年遠忌 追善射会

源平合戦の弓の名人、浅利与一義成公（加年遠忌追善射会が、与一の出身地、豊富村で4月5日に開かれた。名人の弓技にあやかろうと保下各地から、折からの雨をものともせずに数多参加。盛大な射会となった。

成績は次の通り。

○近的の部

一位 西原恭弘 4中　坂越朝大郎

二位 塩島健二 〃

三位 武藤 勇 〃

四位 雨宮 哲 3中　○春中山五男

五位 後藤隆志 〃　○夏 渡月信男

六位 孔山乙山 〃　○秋 山本美津夫

七位 宮下英雄 2中　○冬 市和卯大

八位 塩原敬雄 〃

九位 竹村宗寿 〃

十位 三井 和 〃

※写真は、増穂会場の様子。平家屋島の合戦と那須与一の扇の的を連矢で狙い、みごとに的中、見事成功に射倒したところである。

事務局だより

○訃報 ～ 日弓連 斉藤友治会長が逝去。4月27日、つしんでご冥福をお祈りします。

○おわって射会長には鴨川乃武幸義士が就任しました。

○総会の時にお願いした「何事中しみは支部長又は代理者を経由（説明）して」は、かなり励行されてきたが、まだ若干不徹底でも、完全励行を望む声が多い。

○表彰状の変更、使章と修練者の両立を切に祈ります。

ねんりん四日（弓道）山梨代表選手きまる

第五回全国福祉祭（ねんりんぴく）弓道大会が11月1,2日に増穂町で開催される。選手は各郡道府県を成年部から各一チーム（五人の内、女子一名以上含む）が参加するが、初の山梨の代表を決めるため、4月12日19日の両日にわたって予選会を行った。23名がエントリーし、6射の成績により代表五名を決定した。選手は次の通り。

尚、山梨は南橘地特別枠で一チーム増が認められ、高校有趣高令者チームが雅薦で出場することになった。

■Aチーム
秋山甲斐（韮崎3年）秋山貴男（増穂3年）小林勝丸（西山64才）志賀勝子（塩山60才）

■Bチーム
望月秀昭（南11.50才）渡辺景雄（増穂50才）武井文郎（勝沼54才）堀越郁郎（韮崎70才）中村三平（都留70才）
〈計400才 31段〉

ご健斗ご健勝を祈ります。

県高校総体三連覇

6月15～16日に県高校総体（弓道）が南橘で開催されたこのところの高校弓道界は群雄割拠の様相を呈し、優勝予想は難しいが、今回も甲府一高の大本命。

結局優勝は、男子韮崎、女子甲府南が獲得。主な戦績は下記の通り。

○男子（20射）
準決勝 韮崎14－11 都留
〃 吉田南14－14 巨摩
（教射5－3）
決勝 巨摩南12－11 吉田
○女子（20射）
準決勝 甲府南13－8 吉田
〃 日川高8－6 塩山
決勝 吉田11－4 塩山
甲府南11－8 日川高

県弓連 準備状況

ミニ国体関係

4.16 実行委員総会（スコレセンター）
4.17 立席構成、安藤、古屋お席、競技役員、実行委員役割分担決定
4.19 競技役員の主任会（緑が丘）
競技運行説明の検討
4.20 国体競技実行委員会総会（スコレセンター）、立席構成、役員、古屋、安藤、古屋お席、
4.23 備品手帳調査
4.24 プログラム見積り
4.27 名和清巡回審査（増穂）
5.10 国体予選競技会（増穂）
5.11 増穂役場と打合会、担当者がお互いに連絡説明をする。安藤当番
5.17 平成長距離予選会（緑が丘）
5.18 競技役員依頼内示発送
5.20 南橘地実行委員会、準備打合について、安藤、古屋
以上、ぜんぜん忙しくなりそうです。

ねんりんぴく関係

4.10 増穂役場と打合会、担当者がお互いに連絡説明をする。安藤当番
4.17 平成長距離予選会、ミニゲーム、10名
4.24 競技役員選考作成
5.11 増穂役場と打合会、施設、手当等について、古屋、安藤、役員構成について、安藤
5.18 競技役員選考作成
5.20 増穂役場と打合会、施設、手当等について、古屋、安藤、役員構成について、安藤
5.25 競技役員依頼内示発送
5.20 南橘地実行委員会、準備打合について、古屋、安藤
以上、ぜんぜん忙しくなりそうです。